校園長室から

学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

・いのちを大切にできる子ども　・だれとでも仲良く協力し合う子ども

・意欲をもち学習する子ども　・ねばり強くはたらく子ども

令和８年 10 月 22 日 第 123 号

ダンシング玉入れ

運動会の興奮が冷めやらぬ今週です。

気持ちを入れ替えて、毎日を過ごしている姿を見て感心する日々。

素晴らしい運動会でした。競技や演技が素晴らしかったのですが、それ以上に入退場時のテキパキ動く姿勢がさらに素晴らしかったです。

ところで、中学校の教員生活が長く、ある時「小学校の教頭に」と当時の上司に言われて、人生初めての小学校生活が始まったのでした。校長先生も同じ中学校畑のバリバリの先生で、二人で「小学校、わからん」とつぶやきながら新年度を迎えたのを思い出します。

特にわからなかったのは、「運動会」。中学校では「体育大会」で、その行事に向けて何回かは練習しますが、小学校ほどやりません。

はじめての小学校の運動会当日。いつも以上に興奮している小学生を見て、不思議を感じるとともに「子どもらしさ」というのは、こういうことかと一人で合点したり。

１年生のダンシング玉入れをはじめて見たのもこの時でした。

音楽に合わせて踊る、音楽がやむと一斉に玉入れ。また、音楽が鳴ると最初の位置に戻ってダンス再開。

最初ふざけているのかと思いました。隣で当時の校長先生が「なんか仕掛けでもあるのか」とぽかんとしています。

少しずつ１年生たちが真剣に玉入れをしている姿が理解できて、もう心はメロメロ。「小学校たまらんな」と校長先生と嘆息。今年もメロメロにさせてもらいました。って、最初に見たダンシング玉入れで踊っていた子どもも、数えると来年成人に。光陰矢の如し。年とるわなぁ。